

# 第 27 回「秋田県内企業の景気動向調査」結果

(平成 30 年 2 月調査)

～景況感は 2 期連続で悪化。先行きは依然慎重な見通し～

## 【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値（前年同期比）」が 0.5（前回調査比 4.5 ポイント下落）と 3 期連続の「良い」超ながら、2 期連続の悪化となり、持ち直しの動きが足踏みしている。「各種DI値（前年同期比）」は「営業利益」と「資金繰り」が改善した一方、「売上高」と「人員人手」は悪化となった。
- **業種別**に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、建設業は改善となった一方、その他の 3 業種は悪化となった。サービス業は 2 期連続で悪化したものの、3 期連続で改善した建設業とともに、引き続き「良い」超となっている。一方、製造業と卸・小売業は「悪い」超に転じた。
- **地域別**に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、県北が▲10.2（前回調査比 1.7 ポイント下落）、中央が 10.6（同 3.6 ポイント下落）、県南が▲12.6（同 8.1 ポイント下落）と、すべての地域で悪化となった。中央は 2 期連続で悪化したものの、5 期連続で「良い」超となっている。
- **先行き見通し**は、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲15.1（今回調査比 15.6 ポイント下落）と大幅に悪化し、DI 値のマイナス転化が見込まれており、先行きについて依然として慎重な見通しとなっている。

## 【 特別調査 】

- **雇用調整**について、平成 29 年度に実施した（あるいは実施している）雇用調整について尋ねたところ、実施している企業の割合は、「残業規制」が 32.2%（昨年調査比 1.5 ポイント低下）、「ワークシェアリング」が 15.6%（同 3.4 ポイント上昇）、「従業員の削減」が 2.8%（同 0.7 ポイント低下）となった。
- **新卒者の採用状況**について、来年度（平成 30 年度）の新卒者の採用状況（採用する）について尋ねたところ、採用すると答えた企業の割合は、全業種では 38.9%（昨年調査比 1.2 ポイント低下）と 2 期ぶりの低下となっている。

平成 30 年 2 月

株式会社フィデア総合研究所

## 目次

I. 県内企業の業況	1
1. 概況	1
2. 業種別の動向	2
(1) 業種別の概況	2
(2) 業種別 D I 値の動向	3
① 建設業	3
② 製造業	4
③ 卸・小売業	5
④ サービス業	6
3. 地域別の動向	7
(1) 地域別の概況	7
(2) 地域別 D I 値の動向	8
① 県北	8
② 中央	9
③ 県南	10
II. 景気の天気予報図	11
III. 特別調査	12
1. 雇用調整について	12
2. 新卒者の採用状況について	13
<参考資料 I : 業種別・地域別回答率>	14
<参考資料 II : 調査の概要>	14

## I. 県内企業の業況

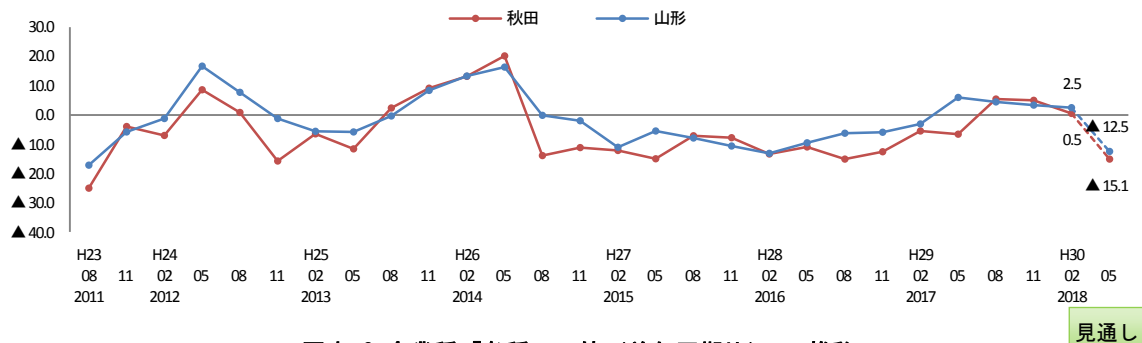
### 1. 概況

～ 景況感は 2 期連続で悪化。先行きも依然慎重な見通し ～

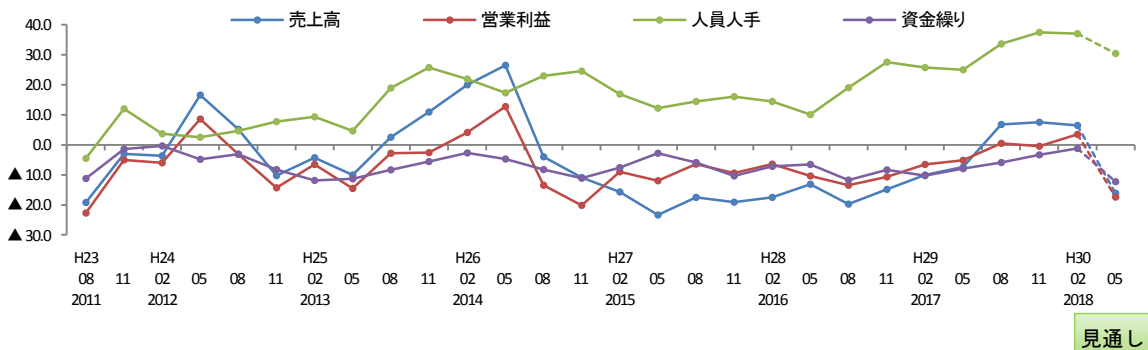
県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値（前年同期比）」が0.5（前回調査比4.5ポイント下落）と3期連続の「良い」超ながら、2期連続の悪化となり、持ち直しの動きが足踏みしている。「各種DI値（前年同期比）」は「営業利益」と「資金繰り」が改善した一方、「売上高」と「人員人手」は悪化となった。

先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲15.1（今回調査比15.6ポイント下落）と大幅に悪化し、DI値のマイナス転化が見込まれており、先行きについて依然として慎重な見通しとなっている。

図表 1 全業種「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 2 全業種「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

全業種 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測					
H 29.02 (n=401)	▲ 5.5	7.1	▲ 14.0	▲ 10.0	▲ 6.5	25.7	▲ 10.2
H 29.05 (n=393)	▲ 6.6	▲ 1.1	▲ 21.2	▲ 7.4	▲ 5.1	25.0	▲ 7.9
H 29.08 (n=407)	5.4	12.0	▲ 11.7	6.8	0.5	33.6	▲ 5.9
H 29.11 (n=401)	5.0	▲ 0.4	▲ 8.1	7.5	▲ 0.5	37.4	▲ 3.3
H 30.02 (n=398)	0.5	(▲ 4.5)	▲ 8.7	6.5	3.5	37.0	▲ 1.2
前回調査比	-	-	-	(▲ 1.0)	(4.0)	(▲ 0.4)	(2.1)
先行き見通し	▲ 15.1	-	-	▲ 16.1	▲ 17.4	30.4	▲ 12.3
今回調査比	(▲ 15.6)	-	-	(▲ 22.6)	(▲ 20.9)	(▲ 6.6)	(▲ 11.1)

※ 「売上高」DI値は、建設業の「完成工事高」を含んだ値。

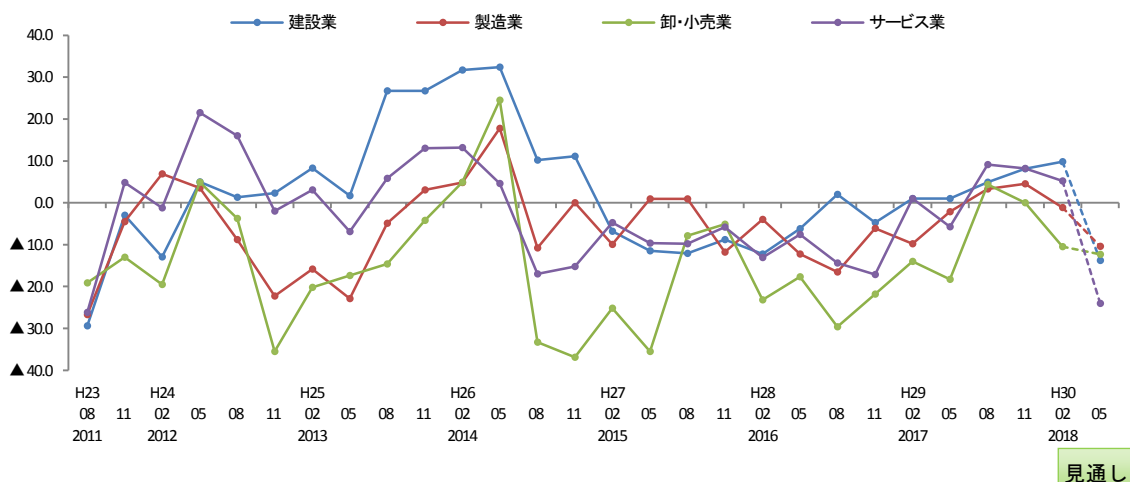
## 2. 業種別の動向

### (1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、建設業は改善となった一方、その他の3業種は悪化となった。サービス業は2期連続で悪化したものの、3期連続で改善した建設業とともに、引き続き「良い」超となっている。一方、製造業と卸・小売業は「悪い」超に転じた。総じてみれば人手不足感の高まりや、燃料費・原材料費の上昇傾向が景況感を下押ししている状況がうかがえる。

業況の先行き見通しは、すべての業種で悪化が見込まれており、特に建設業とサービス業では大幅な悪化の見通しとなっている。その結果、4業種すべてでDI値がマイナスとなる見通しである。

図表 3 業種別「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

業種別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
H 29.02 (n=401)	▲ 5.5	1.0	▲ 9.8	▲ 14.0	1.0
H 29.05 (n=393)	▲ 6.6	1.0	▲ 2.1	▲ 18.3	▲ 5.7
H 29.08 (n=407)	5.4	4.9	3.3	4.4	9.1
H 29.11 (n=401)	5.0	8.1	4.5	0.0	8.2
<b>H 30.02 (n=398)</b>	<b>0.5</b>	<b>9.8</b>	<b>▲ 1.1</b>	<b>▲ 10.5</b>	<b>5.2</b>
前回調査比	(▲ 4.5)	(1.7)	(▲ 5.6)	(▲ 10.5)	(▲ 3.0)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 15.1</b>	<b>▲ 13.8</b>	<b>▲ 10.4</b>	<b>▲ 12.3</b>	<b>▲ 24.0</b>
今回調査比	(▲ 15.6)	(▲ 23.6)	(▲ 9.3)	(▲ 1.8)	(▲ 29.2)

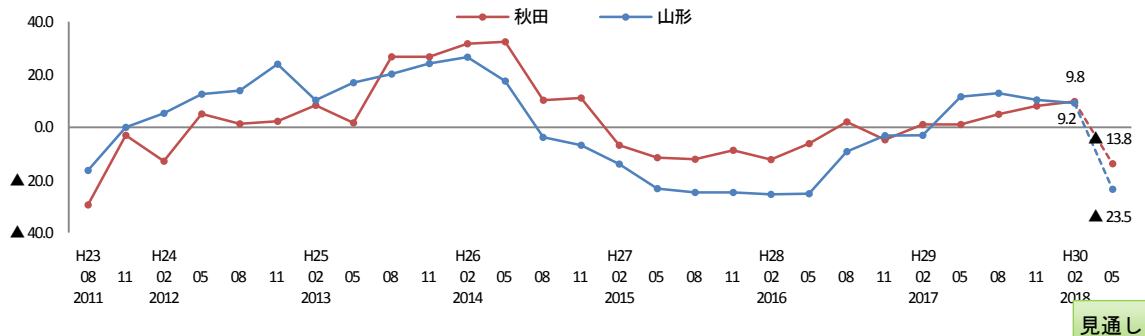
## (2) 業種別 DI 値の動向

### ① 建設業

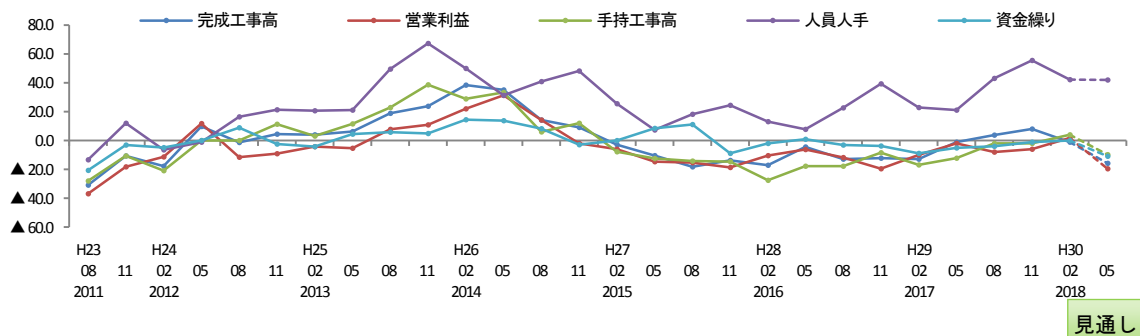
「自社の業況 DI 値（前年同期比）」は 9.8（前回調査比 1.7 ポイント上昇）と 3 期連続で改善し、5 期連続で「良い」超となっている。「各種 DI 値（前年同期比）」をみると、「営業利益」、「手持工事高」、「資金繰り」の 3 項目は改善し、いずれも「悪い」超を脱した。一方、「完成工事高」は 4 期ぶり、「人員人手」は 3 期ぶりの悪化となった。足元は、民間工事が堅調に推移し、公共工事は昨年夏季の大雨による災害復旧工事等により増加している。

先行き見通しは、「自社の業況 DI 値（前年同期比）」が▲13.8（今回調査比 23.6 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれ、DI 値がマイナスに転じる見通しとなっている。

図表 4 建設業「自社業況 DI 値（前年同期比）」の推移



図表 5 建設業「各種 DI 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 DI 値

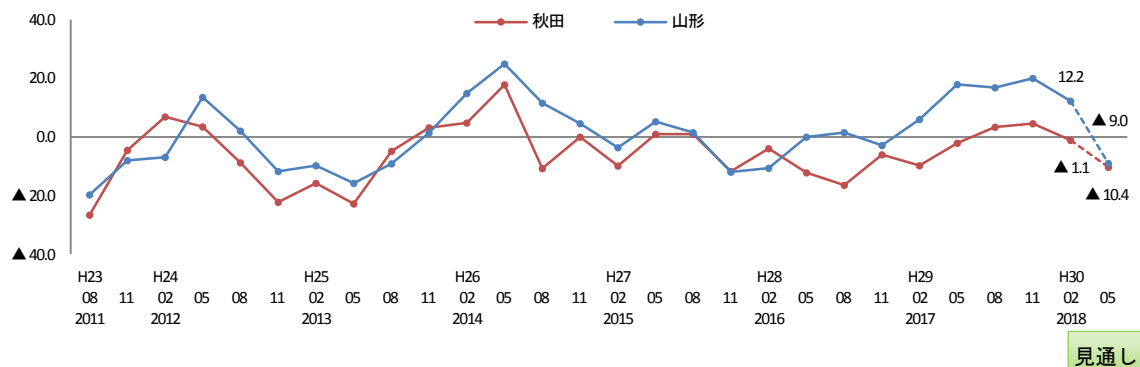
建設業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測						
H 29.02 (n=101)	1.0	5.7	▲ 14.0	▲ 12.9	▲ 9.9	▲ 16.8	22.8	▲ 8.9
H 29.05 (n=99)	1.0	0.0	▲ 24.7	▲ 1.0	▲ 2.0	▲ 12.1	21.2	▲ 5.1
H 29.08 (n=102)	4.9	3.9	▲ 11.1	3.9	▲ 7.9	▲ 2.0	43.2	▲ 4.0
H 29.11 (n=99)	8.1	3.2	▲ 8.8	8.1	▲ 6.0	▲ 2.0	55.6	▲ 1.1
<b>H 30.02 (n=102)</b>	<b>9.8</b>	<b>(1.7)</b>	<b>▲ 4.0</b>	<b>▲ 1.0</b>	<b>1.9</b>	<b>4.0</b>	<b>42.2</b>	<b>0.0</b>
前回調査比	-	-	-	(▲ 9.1)	(7.9)	(6.0)	(▲ 13.4)	(1.1)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 13.8</b>	-	-	<b>▲ 15.7</b>	<b>▲ 19.6</b>	<b>▲ 9.8</b>	<b>42.1</b>	<b>▲ 10.8</b>
今回調査比	(▲ 23.6)	-	-	(▲ 14.7)	(▲ 21.5)	(▲ 13.8)	(▲ 0.1)	(▲ 10.8)

## ② 製造業

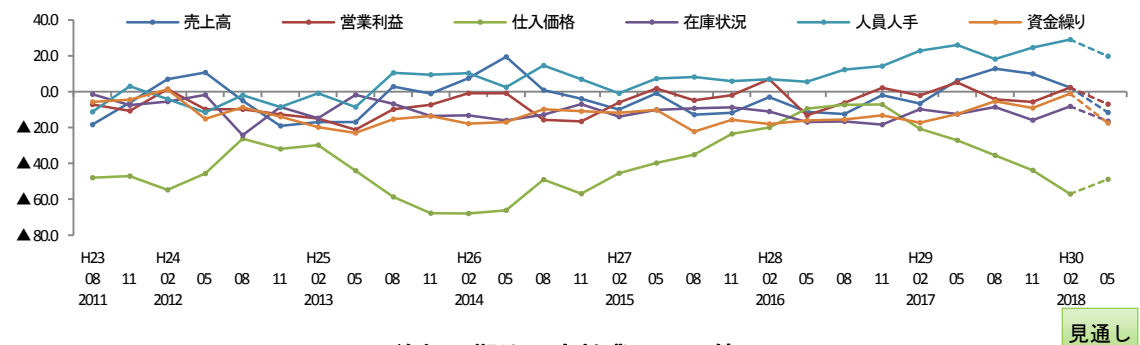
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲1.1（前回調査比5.6ポイント下落）と4期ぶりに悪化し、「悪い」超となった。各種DI値（前年同期比）」でみると、「営業利益」、「在庫状況」、「人員人手」、「資金繰り」が改善した一方、「売上高」と「仕入価格」は悪化した。自動車やスマートフォン関連の堅調を受けて電気機械など一部の製造業では回復傾向がうかがえるものの、足元は原材料費や燃料費への負担感がさらに増している。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲10.4（今回調査比9.3ポイント下落）と引き続き悪化が見込まれている。

図表 6 製造業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 7 製造業「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

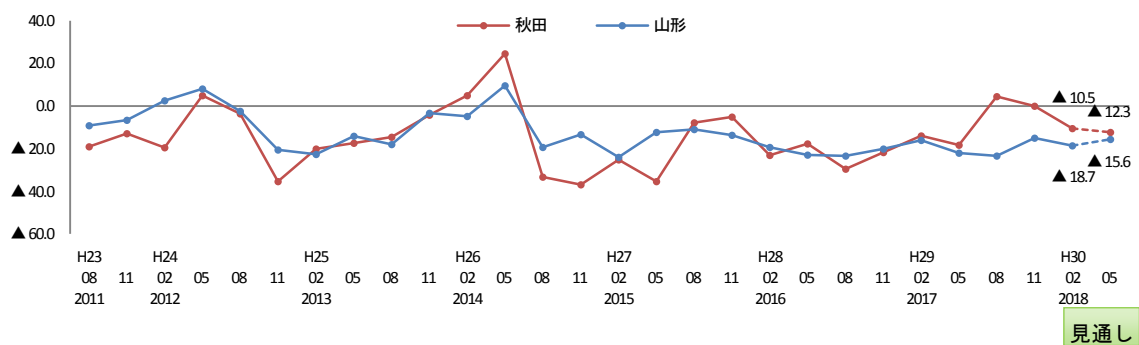
製造業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業 利益	仕入 価格	在庫 状況	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測							
H 29.02 (n=92)	▲ 9.8	▲ 3.7	▲ 23.5	▲ 6.5	▲ 2.2	▲ 20.7	▲ 9.8	22.8	▲ 17.3
H 29.05 (n=96)	▲ 2.1	7.7	▲ 20.7	6.2	5.2	▲ 27.1	▲ 12.5	26.1	▲ 12.5
H 29.08 (n=93)	3.3	5.4	▲ 8.3	12.9	▲ 4.3	▲ 35.5	▲ 8.6	18.2	▲ 5.3
H 29.11 (n=89)	4.5	1.2	▲ 6.5	10.1	▲ 5.6	▲ 43.8	▲ 15.8	24.7	▲ 9.0
<b>H 30.02 (n=86)</b>	<b>▲ 1.1</b>	<b>(▲ 5.6)</b>	<b>▲ 13.5</b>	<b>2.3</b>	<b>2.3</b>	<b>▲ 57.0</b>	<b>▲ 8.1</b>	<b>29.1</b>	<b>▲ 1.1</b>
前回調査比	-	-	-	(▲ 7.8)	(7.9)	(▲ 13.2)	(7.7)	(4.4)	(7.9)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 10.4</b>	-	-	<b>▲ 11.6</b>	<b>▲ 7.0</b>	<b>▲ 48.8</b>	<b>▲ 16.3</b>	<b>19.8</b>	<b>▲ 17.4</b>
今回調査比	(▲ 9.3)	-	-	(▲ 13.9)	(▲ 9.3)	(8.2)	(▲ 8.2)	(▲ 9.3)	(▲ 16.3)

### ③ 卸・小売業

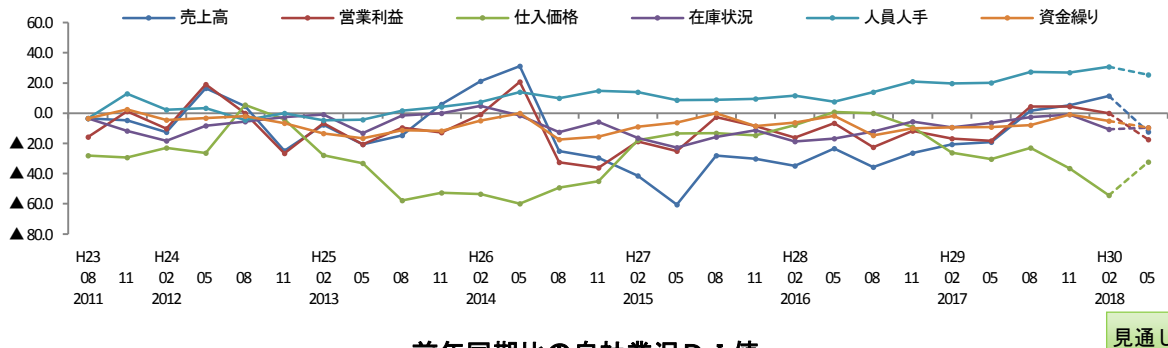
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲10.5（前回調査比 10.5 ポイント下落）と2期連続で悪化し、「悪い」超となった。「各種DI値（前年同期比）」で見ると、「売上高」と「人員人手」が改善した一方、その他の4項目は悪化となった。各社のコメントをみると、ガソリンスタンドや食料品関係では、燃料費の上昇や天候不良による野菜価格上昇などによる業績への影響が色濃くうかがえる。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲12.3（今回調査比 1.8 ポイント下落）と引き続き悪化が見込まれている。

図表 8 卸・小売業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 9 卸・小売業「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

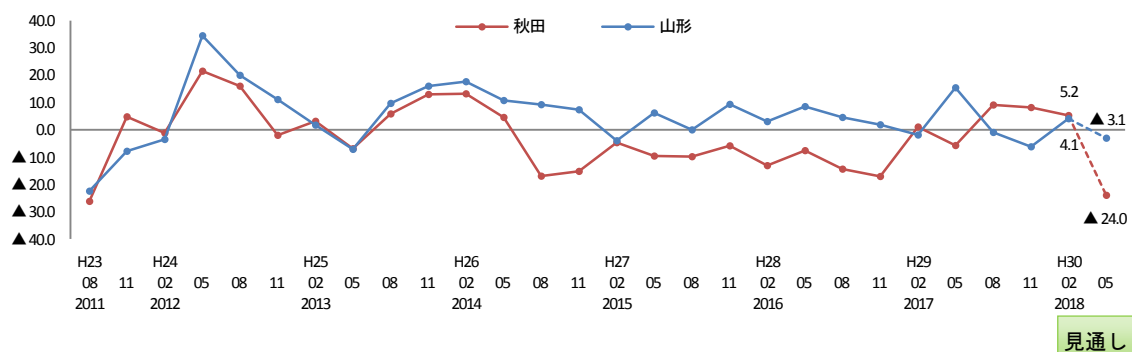
卸・小売業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
H 29.02 (n=107)	▲ 14.0	7.8	▲ 9.1	▲ 20.6	▲ 16.9	▲ 26.2	▲ 9.4	19.6	▲ 9.4
H 29.05 (n=109)	▲ 18.3	▲ 4.3	▲ 25.2	▲ 19.2	▲ 18.3	▲ 30.3	▲ 6.4	20.2	▲ 9.1
H 29.08 (n=113)	4.4	22.7	▲ 17.4	1.7	4.4	▲ 23.0	▲ 2.7	27.4	▲ 7.9
H 29.11 (n=115)	0.0	▲ 4.4	▲ 12.4	5.2	4.3	▲ 36.5	▲ 0.8	26.9	▲ 0.8
<b>H 30.02 (n=114)</b>	<b>▲ 10.5</b>	<b>(▲ 10.5)</b>	<b>▲ 15.7</b>	<b>11.4</b>	<b>0.0</b>	<b>▲ 54.4</b>	<b>▲ 10.6</b>	<b>30.7</b>	<b>▲ 5.2</b>
前回調査比	-	-	-	(6.2)	(▲ 4.3)	(▲ 17.9)	(▲ 9.8)	(3.8)	(▲ 4.4)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 12.3</b>	-	-	<b>▲ 12.3</b>	<b>▲ 17.5</b>	<b>▲ 32.4</b>	<b>▲ 9.7</b>	<b>25.5</b>	<b>▲ 9.6</b>
今回調査比	(▲ 1.8)	-	-	(▲ 23.7)	(▲ 17.5)	(22.0)	(0.9)	(▲ 5.2)	(▲ 4.4)

### ④ サービス業

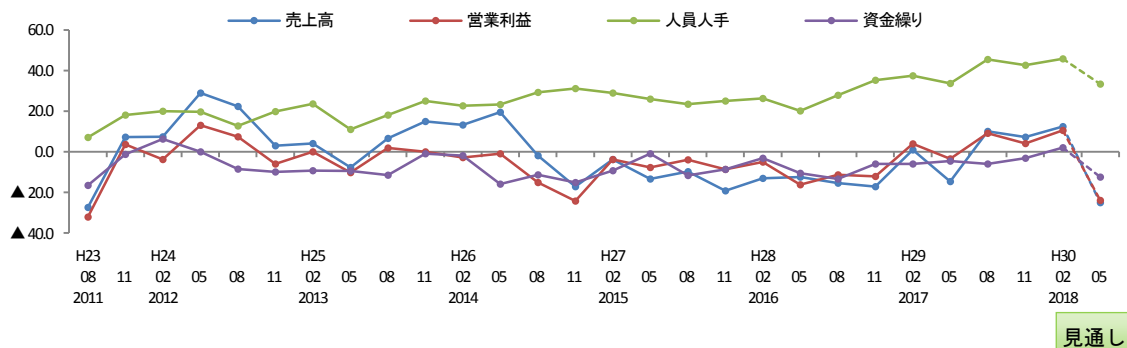
「自社の業況DI値（前年同期比）」は5.2（前回調査比3.0ポイント下落）と2期連続で悪化したものの、引き続き「良い」超となった。「各種DI値（前年同期比）」で見ると、すべての項目で改善しており、特に「資金繰り」は平成24年2月調査以降24期ぶりに「良い」超となった。各社のコメントをみると、不動産業や建機レンタル業、宿泊業などの一部では改善の動きが見られた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲24.0（今回調査比29.2ポイント下落）と引き続き悪化が見込まれている。

図表 10 サービス業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 11 サービス業「各種DI値（前年同期比）」の推移



#### 前年同期比の自社業況DI値

サービス業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測					
H 29.02 (n=101)	1.0	18.1	▲10.1	1.0	4.0	37.6	▲6.0
H 29.05 (n=89)	▲5.7	▲6.7	▲13.9	▲14.6	▲3.4	33.7	▲4.5
H 29.08 (n=99)	9.1	14.8	▲8.9	10.1	9.1	45.5	▲6.0
H 29.11 (n=98)	8.2	▲0.9	▲4.1	7.2	4.1	42.8	▲3.1
<b>H 30.02 (n=96)</b>	<b>5.2</b>	<b>(▲3.0)</b>	<b>▲1.0</b>	<b>12.5</b>	<b>10.5</b>	<b>45.9</b>	<b>2.0</b>
前回調査比	-	-	-	(5.3)	(6.4)	(3.1)	(5.1)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲24.0</b>	-	-	<b>▲25.0</b>	<b>▲24.0</b>	<b>33.4</b>	<b>▲12.5</b>
今回調査比	(▲29.2)	-	-	(▲37.5)	(▲34.5)	(▲12.5)	(▲14.5)



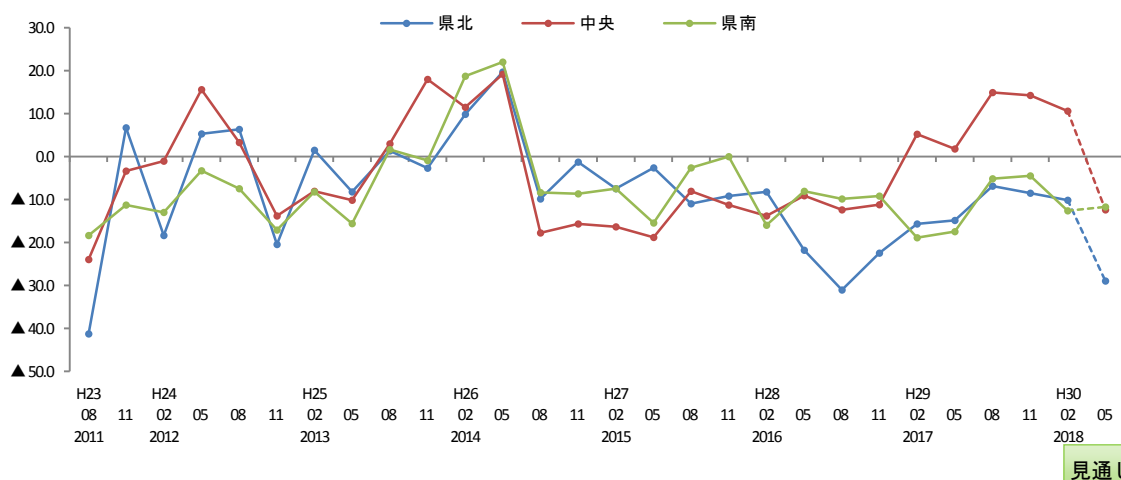
### 3. 地域別の動向

#### (1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、県北が▲10.2（前回調査比1.7ポイント下落）、中央が10.6（同3.6ポイント下落）、県南が▲12.6（同8.1ポイント下落）と、すべての地域で悪化となった。中央は2期連続で悪化したものの、5期連続で「良い」超となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、県南では小幅な改善が見込まれているものの、県北と中央では大幅な悪化の見通しで、3地域すべてでDI値がマイナスとなる見込みである。

図表 12 地域別「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

地域別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			
	全地域	県北	中央	県南
H 29.02 (n=401)	▲ 5.5	▲ 15.7	5.2	▲ 18.9
H 29.05 (n=393)	▲ 6.6	▲ 14.9	1.8	▲ 17.5
H 29.08 (n=407)	5.4	▲ 6.9	14.9	▲ 5.2
H 29.11 (n=401)	5.0	▲ 8.5	14.2	▲ 4.5
<b>H 30.02 (n=398)</b>	<b>0.5</b>	<b>▲ 10.2</b>	<b>10.6</b>	<b>▲ 12.6</b>
前回調査比	(▲ 4.5)	(▲ 1.7)	(▲ 3.6)	(▲ 8.1)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 15.1</b>	<b>▲ 29.0</b>	<b>▲ 12.4</b>	<b>▲ 11.7</b>
今回調査比	(▲ 15.6)	(▲ 18.8)	(▲ 23.0)	(0.9)

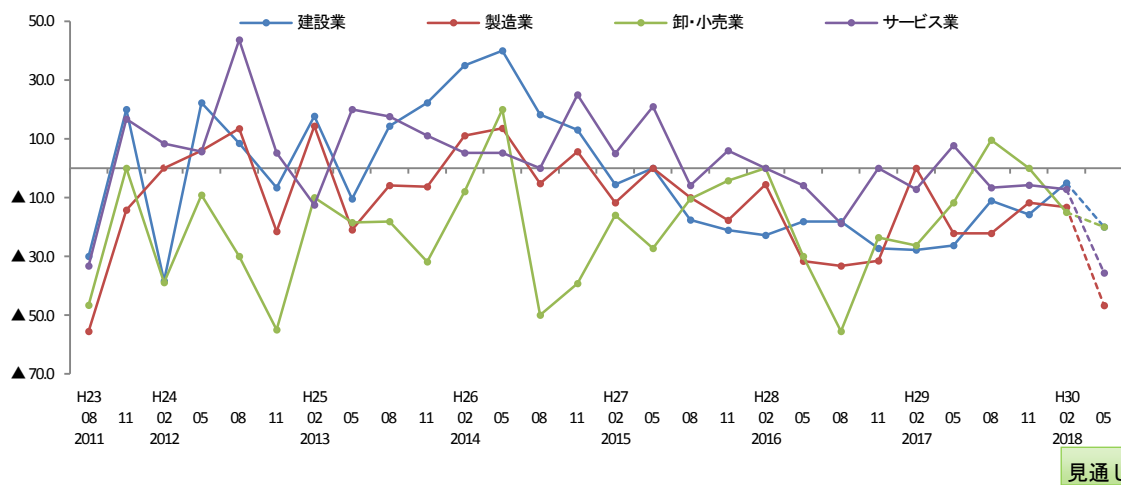
## (2) 地域別 D I 値の動向

### ① 県北

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲10.2（前回調査比 1.7 ポイント下落）と 2 期連続の悪化となっている。業種別では、建設業が改善となった一方、その他の 3 業種は悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲29.0（今回調査比 18.8 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。業種別では、すべての業種で悪化が見込まれている。

図表 13 県北業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

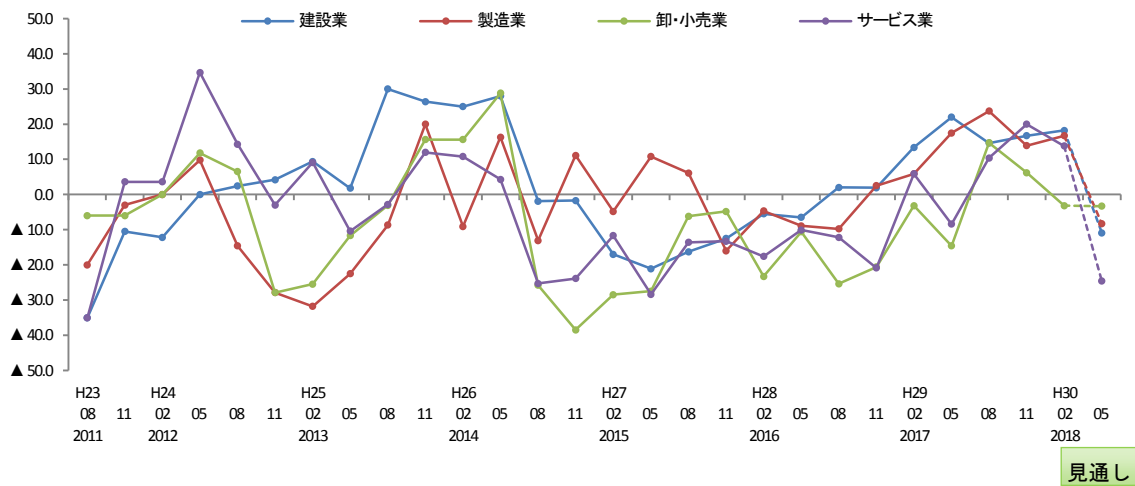
県北 調査時(サンプル数)	自社業況 (前年同期比)				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
H 29.02 (n=70)	▲ 15.7	▲ 27.8	0.0	▲ 26.3	▲ 7.2
H 29.05 (n=67)	▲ 14.9	▲ 26.3	▲ 22.2	▲ 11.8	7.7
H 29.08 (n=72)	▲ 6.9	▲ 11.1	▲ 22.2	9.5	▲ 6.7
H 29.11 (n=71)	▲ 8.5	▲ 15.8	▲ 11.8	0.0	▲ 5.8
<b>H 30.02 (n=69)</b>	<b>▲ 10.2</b>	<b>▲ 5.0</b>	<b>▲ 13.3</b>	<b>▲ 15.0</b>	<b>▲ 7.2</b>
前回調査比	(▲ 1.7)	(10.8)	(▲ 1.5)	(▲ 15.0)	(▲ 1.4)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 29.0</b>	<b>▲ 20.0</b>	<b>▲ 46.7</b>	<b>▲ 20.0</b>	<b>▲ 35.7</b>
今回調査比	(▲ 18.8)	(▲ 15.0)	(▲ 33.4)	(▲ 5.0)	(▲ 28.5)

## ② 中央

「自社の業況DI値（前年同期比）」は 10.6（前回調査比 3.6 ポイント下落）と 2 期連続で悪化したものの、5 期連続で「良い」超となっている。業種別では、建設業と製造業が改善した一方、卸・小売業とサービス業では悪化し、卸・小売業については、3 期ぶりに「悪化」超となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲12.4（今回調査比 23.0 ポイント下落）と大幅に悪化し、DI 値がマイナスに転じる見込みとなっている。業種別にみても、すべての業種でマイナスの見通しとなっている。

図表 14 中央業種別「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

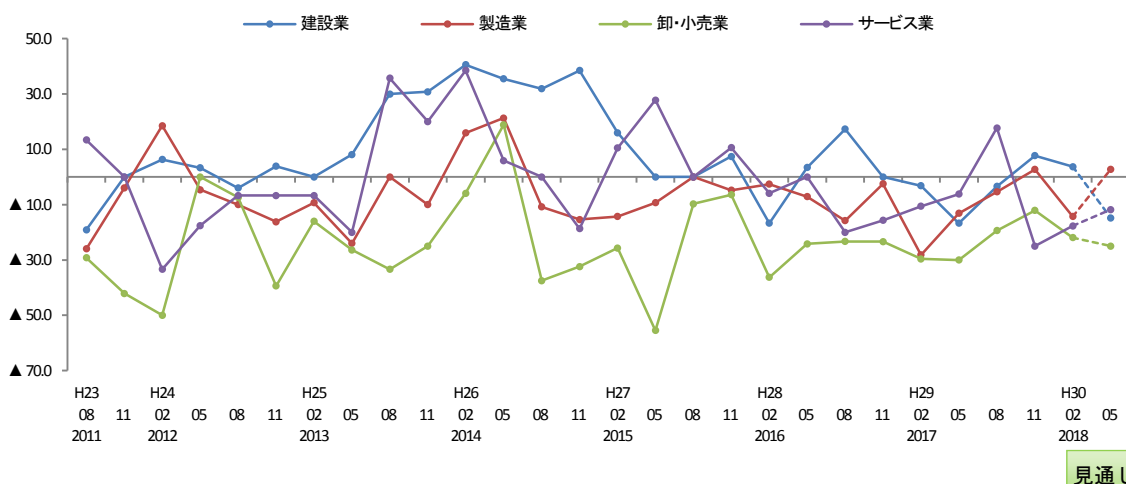
中 央 調査時(サンプル数)	自社業況（前年同期比）				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
H 29.02 (n=215)	5.2	13.4	5.9	▲ 3.2	5.9
H 29.05 (n=212)	1.8	22.0	17.5	▲ 14.6	▲ 8.4
H 29.08 (n=221)	14.9	14.6	23.7	14.7	10.4
H 29.11 (n=219)	14.2	16.7	13.9	6.2	20.0
<b>H 30.02 (n=218)</b>	<b>10.6</b>	<b>18.2</b>	<b>16.7</b>	<b>▲ 3.2</b>	<b>13.8</b>
前回調査比	(▲ 3.6)	(1.5)	(2.8)	(▲ 9.4)	(▲ 6.2)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 12.4</b>	<b>▲ 10.9</b>	<b>▲ 8.3</b>	<b>▲ 3.3</b>	<b>▲ 24.6</b>
今回調査比	(▲ 23.0)	(▲ 29.1)	(▲ 25.0)	(▲ 0.1)	(▲ 38.4)

### ③ 県南

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲12.6（前回調査比 8.1 ポイント下落）と 4 期ぶりに悪化した。業種別にみると、サービス業が改善した一方、その他の 3 業種では悪化となり、製造業は「悪い」超に転じた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲11.7（今回調査比 0.9 ポイント上昇）と小幅ながら改善が見込まれている。業種別では、製造業とサービス業は改善が見込まれているものの、建設業と卸・小売業では悪化の見通しとなっている。

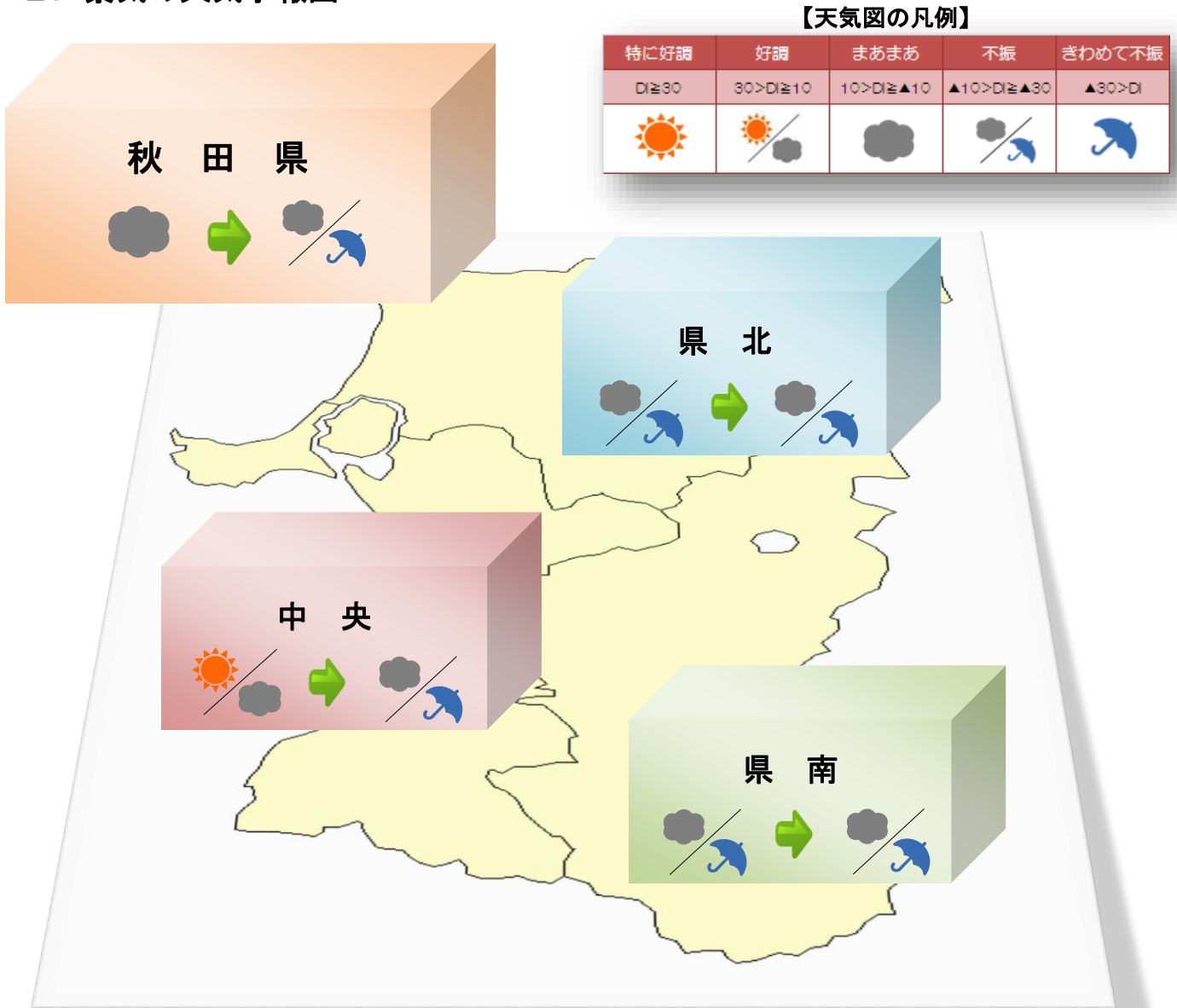
図表 15 県南業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

県南 調査時(サンプル数)	自社業況 (前年同期比)				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
H 29.02 (n=116)	▲ 18.9	▲ 3.2	▲ 28.2	▲ 29.6	▲ 10.6
H 29.05 (n=114)	▲ 17.5	▲ 16.7	▲ 13.1	▲ 30.0	▲ 6.2
H 29.08 (n=114)	▲ 5.2	▲ 3.4	▲ 5.4	▲ 19.4	17.7
H 29.11 (n=111)	▲ 4.5	7.7	2.7	▲ 12.1	▲ 25.0
H 30.02 (n=111)	▲ 12.6	3.7	▲ 14.3	▲ 21.9	▲ 17.7
前回調査比	(▲ 8.1)	(▲ 4.0)	(▲ 17.0)	(▲ 9.8)	(7.3)
先行き見通し	▲ 11.7	▲ 14.8	2.8	▲ 25.0	▲ 11.8
今回調査比	(0.9)	(▲ 18.5)	(17.1)	(▲ 3.1)	(5.9)

II. 景気の天気予報図



今期の概況

	秋田県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				



来期の見通し

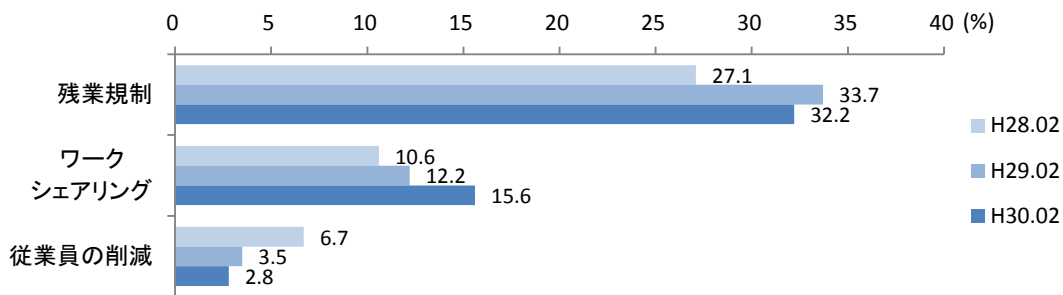
	秋田県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				

### Ⅲ. 特別調査

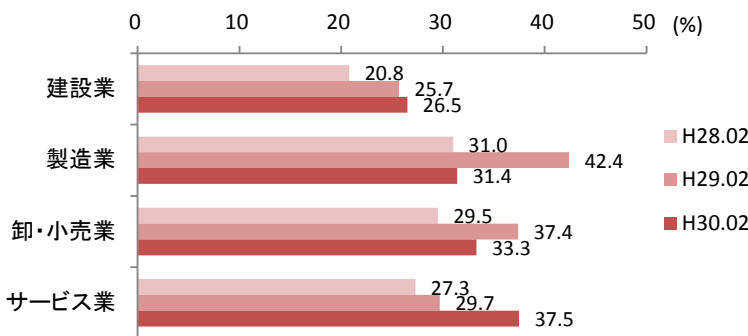
#### 1. 雇用調整について

平成 29 年度に実施した（あるいは実施している）雇用調整について尋ねたところ、実施している企業の割合は、「残業規制」が 32.2%（昨年調査比 1.5 ポイント低下）、「ワークシェアリング」が 15.6%（同 3.4 ポイント上昇）、「従業員の削減」が 2.8%（同 0.7 ポイント低下）と、「ワークシェアリング」は上昇した一方、「残業規制」と「従業員の削減」は低下となるなど、変化の方向に違いが見られたものの、依然「残業規制」が 3 割台と高い割合を示している。

図表 16 雇用調整の実施状況

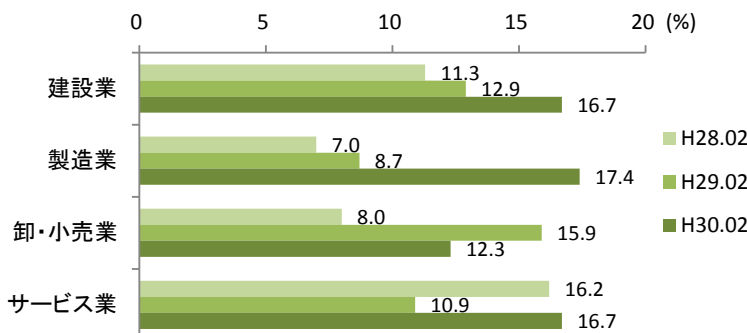


図表 17 業種別「残業規制」の実施状況



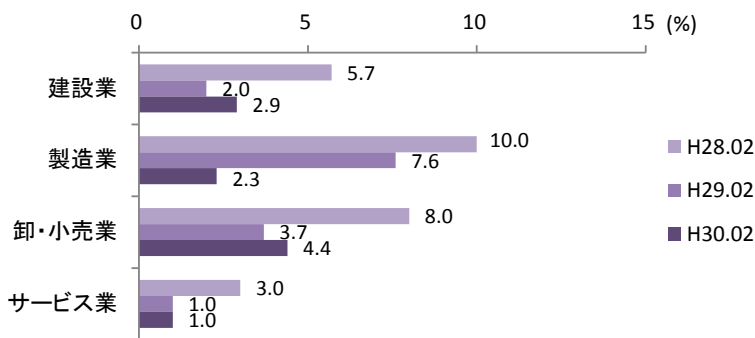
「残業規制」を実施した企業の割合は、昨年調査と比較すると、建設業とサービス業で上昇した一方、製造業と卸・小売業では低下した。サービス業では昨年比 7.8 ポイント上昇と上昇幅が大きく、実施している企業の割合も最も高くなっている。

図表 18 業種別「ワークシェアリング」の実施状況



「ワークシェアリング」を実施した企業の割合は、昨年調査と比較すると、卸・小売業で低下した一方、その他の 3 業種では上昇した。特に製造業では昨年比 8.7 ポイント上昇と上昇幅が大きく、実施している企業の割合も最も高くなっている。

図表 19 業種別「従業員の削減」の実施状況

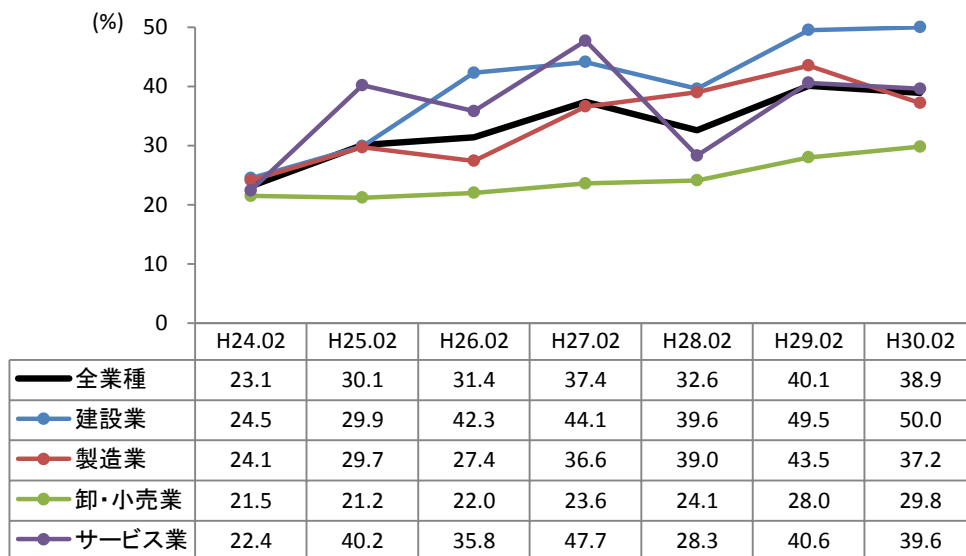


「従業員の削減」を実施した企業の割合は、昨年調査と比較すると、建設業と卸・小売業では上昇、製造業では低下、サービス業では横ばいとなった。業種によって変化の方向には違いがあるものの、総じて1割未満と低い割合にとどまっている。

## 2. 新卒者の採用状況について

来年度（平成30年度）の新卒者の採用状況（採用する）について尋ねたところ、採用すると答えた企業の割合は、全業種では38.9%（昨年調査比1.2ポイント低下）と2期ぶりの低下となっている。業種別では、建設業と卸・小売業では上昇した一方、製造業とサービス業では低下となっている。

図表 20 業種別「新卒者の採用状況」



<参考資料Ⅰ：業種別・地域別回答率>

サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	27	26	27	26	106
中央	80	66	95	95	336
県南	41	63	49	34	187
合計	148	155	171	155	629

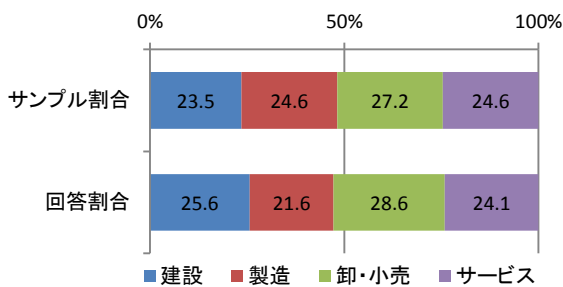
回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	20	15	20	14	69
中央	55	36	62	65	218
県南	27	35	32	17	111
合計	102	86	114	96	398

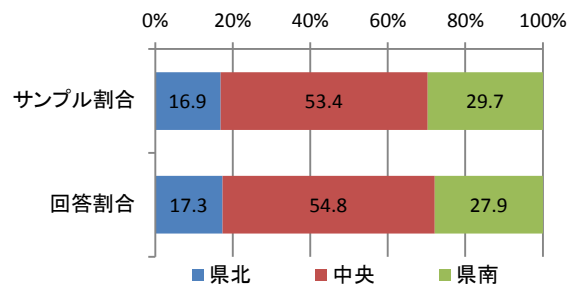
回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	74.1	57.7	74.1	53.8	65.1
中央	68.8	54.5	65.3	68.4	64.9
県南	65.9	55.6	65.3	50.0	59.4
合計	68.9	55.5	66.7	61.9	63.3

(業種別：%)



(地域別：%)



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した。

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部 F A X を利用）。

● 調査期間

平成 30 年 2 月 1 日（木）～14 日（水）

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
県北	大館市、能代市、北秋田市、鹿角市、三種町、八峰町、小坂町、藤里町、上小阿仁村
中央	秋田市、由利本荘市、潟上市、男鹿市、にかほ市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村
県南	横手市、大仙市、湯沢市、仙北市、美郷町、羽後町、東成瀬村



## ● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について 3 肢択一方式を採っている。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている。

項目	選択肢 (択一方式)		
自社の業況 (共通項目)	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
業界の業況 (共通項目)	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
売上高 (建設業を除く)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
完成工事高 (建設業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
営業利益 (共通項目)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
人員や人手 (共通項目)	1. 足りない	2. ちょうどよい	3. 余っている
資金繰り (共通項目)	1. 楽になった	2. さほど変わらない	3. 厳しい
原材料等の仕入価格 (製造業のみ)	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
製 (商) 品の仕入価格 (卸・小売業のみ)	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
在庫状況 (製造業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
手持工事高 (建設業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った

(注) 各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ 3 肢択一方式を採っている。

## ● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれ D I 値を算出する。D I 値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、算出方法は次の通り。

例) 自社の業況 D I 値

$$= (\text{「1. 良い」と回答した企業の割合}) - (\text{「3. 悪い」と回答した企業の割合})$$

たとえば「自社の業況 D I 値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向 (良くなっているか、悪くなっているか) についても分かる。

ちなみに、他の D I 値についても同様に、選択肢「1. 」 (「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと) を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する。

## <お知らせ>

F S N 会員専用ホームページ (<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>) にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ (<http://www.f-ric.co.jp/>) 「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

## <お問い合わせ先>

株式会社フィデア総合研究所 地域コンサルティンググループ 後藤 (秋田本部) / 佐藤 (秋田本部)

### ・秋田本部

〒010-0001 秋田県秋田市中通 3-1-41 北都銀行本店 6F  
Tel : 018-837-1727 Fax : 018-834-5508

### ・山形本社

〒990-0043 山形県山形市本町 1-4-21 荘銀山形ビル 8F  
Tel : 023-626-9017 Fax : 023-626-9038 E-mail : kenkyuu@f-ric.co.jp  
URL : <http://www.f-ric.co.jp>